

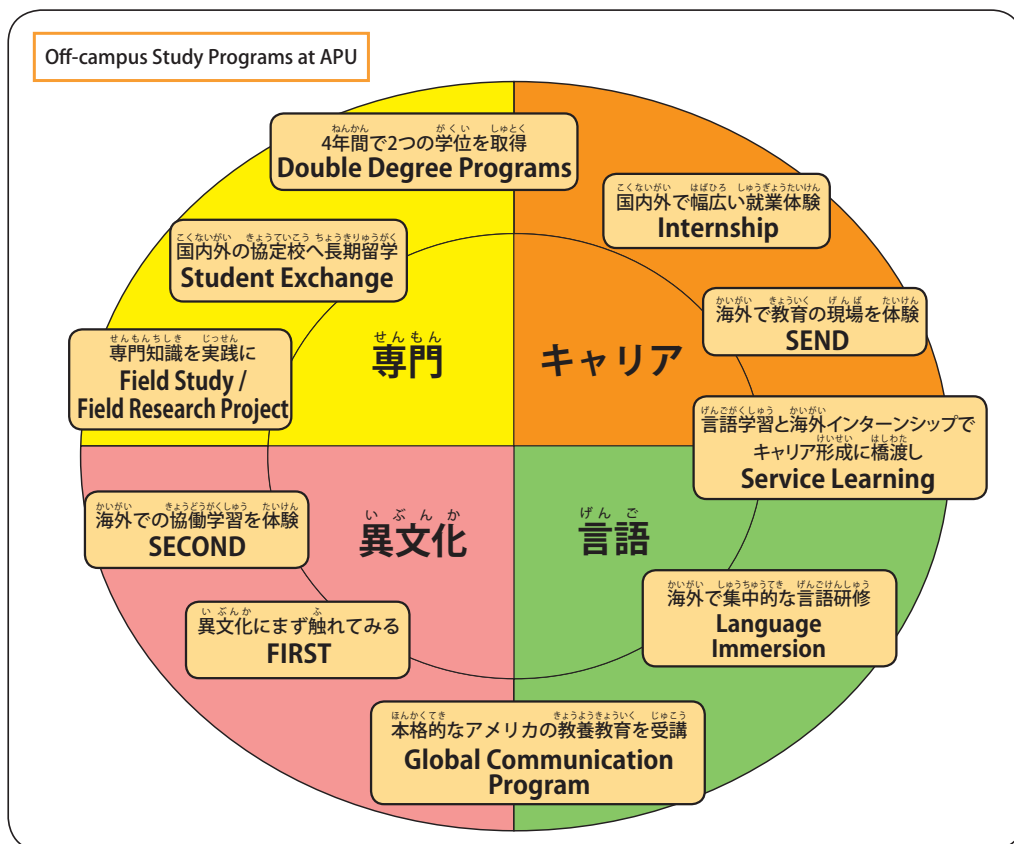
6. Off-campus Study Programs

(がく がい は けん学外派遣プログラム)

6.1 Off-campus Study Programs 全体概要

APUは、学びの基本要素として「知識」「経験」「交流」の3つが重要であると考えています。教室での授業は「知識」の習得に大変有効ですが、皆さんの一層の成長を促すには、キャンパス外での「経験」や「交流」も極めて重要です。

そこでAPUでは、教室での授業が中心の講義に加えて、国内外でのフィールドワーク、インターンシップ、海外で学ぶ言語研修プログラムといった実践的学習や体験を重視した様々なプログラムを企画し、これを「Off-campus Study Programs」として展開しています。Off-campus Study Programsには、4年間の学生生活の様々なステージに応じて選択できる多様なプログラムがあります。Off-campus Study Programsは、講義で得た知識を実践に移す機会になるだけではなく、その時限りの学びで終わらずに、プログラム参加後の学修プランや自身のキャリア形成を考える機会にもなります。在学中に、最低1度はこれらのプログラムに参加できるよう、学生生活プランを組み立てることを皆さんにお勧めします。



※ 各プログラムの詳細や参加時期については、次のページのOff-campus Study Programs一覧表を確認してください。

※ 最新情報は、アカデミック・オフィスウェブサイトを確認してください。

URL : <http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0209.html>

6.1.1 Off-campus Study Programs 一覧表

	異文化に触れる			言語を学ぶ	
	FIRST (海外)	FIRST (国内)	SECOND	Japanese Umakunaru Program(JUMP)	言語イマージョン
プログラムの ちてきとくちよう 目的、特徴	・異文化理解・体験 ・海外の人々との交流	・日本文化理解 ・日本語実践活用 ・キャンパス外の人々との交流	・異文化理解・体験、 国内・国際学生の 協働	・言語運用能力向上 のための日本語集中 学習 ・キャンパス外の人々 との交流	・言語運用能力向上 のための海外での 集中的な言語学習 ・異文化理解・体験
受講対象	1～2 セメスター生		1～3 セメスター生	1～7 セメスター生	1～7 セメスター生
申請条件	・国内学生 ・日本語基準または 「日本語中上級」 修得済みの国際 学生	・英語基準の国際学 生	・国内学生／国際学 生	・英語基準学生(日本 語母語話者を除く) 日本語中級以上修了 あるいは免除された 学生 ・日本語基準国際学生 (日本語母語話者を 除く) ・コース毎に日本語 力への申請要件あり	・国内学生／国際学 生 ・プログラムごとに申 請要件あり
実習時期	春セメスター (4日間)	秋セメスター (4日間)	夏セッション期間	冬セッション期間	夏／冬セッション期間 (3～5週間)
募集期間	春 4月 秋 なし	なし 10月	4月 なし	なし 11月	4月 10月
実習地(国・地域) (過去例を含む)	未定	九州	東南アジア	APU、別府地域	中国、韓国、ベトナム、 インドネシア、タイ、メキシコ
科目名 (集計分野) 単位数	・2011年度カリキュラム生 ファーストプログラム(共通教養科目) 2単位 ・2017年度カリキュラム生 異文化フィールドワークⅠ(共通教養科目) 2単位		・2011年度カリキュラム生 特殊講義(E/J)(共通教養科目) 2単位 ・2017年度カリキュラム生 異文化フィールドワークⅡ (共通教養科目) 2単位	・2011年度カリキュラム生 特殊講義 (言語教育科目) 4単位	・海外集中言語研修 (言語教育科目) 4単位
成績評価	P(合格)/F(不合格)		通常評価 (A ⁺ 、A、B、C、/F)	通常評価 (A ⁺ 、A、B、C、/F)	通常評価 (A ⁺ 、A、B、C、/F)
単位授与セメスター	実習セメスター		実習セメスター	実習セメスター	実習セメスター
費用目安	7万円～8万円	3万円～4万円	13万円～15万円	5万円程度	20万円～45万円
登録上限単位数に 含む/含まない	含む	含む	含む	含む	含む
再履修の可否	不可	不可	不可	異なるコースで あれば可	異なる言語 プログラムであれば可

※ 上記の内容は変更される場合があります。詳細は、各プログラムの募集要項にて確認してください。

※ プログラムの参加決定後、全ての科目において、履修科目登録は大学が行います。

アメリカの教養教育を学ぶ	教育の現場で学ぶ	東南アジアで日本を発信する	キャリア形成と学びを深める
Global Communication Program (GCP)	Student Exchange Nippon Discovery (SEND)	日本語パートナーズ (APU推薦枠)	サービスマーケティング University of Texas (UT)
・コミュニケーション力 ・多文化理解力の形成と強化	・高等学校／大学での教育インターンシップ ・日本語教育のサポートや、日本文化紹介アクティビティなどの実施	・現地に暮らす人たちの日本語や日本文化への興味を高め、理解を促進させる ・派遣先の国の言語や文化に対する理解を深める ・言語や文化背景の異なる相手とのコミュニケーション能力を高め、異文化に対する態度について考える	・実践的な英語力の修得 ・企業・NGO・社会貢献活動の現場でのジョブシャドーイング ・キャリアビジョンの明確化
派遣時に3～6セメスター生 (申請時は2～5セメスター生)	2～7セメスター生	国際交流基金の条件に準ずる	派遣時に2～7セメスター生 (申請時は1～6セメスター生)
・日本語基準の国内・国際学生 ・派遣時に「英語中級A・B」を修得していること(「英語準上級A・B」が修得していることが望ましい)	・日本語を母語とする学生		・日本語基準学生(優先的に留学) ・派遣時に「英語中級A・B」を修得していること(TOEFL ITP® Test 460点以上)
春セメスター第2クォーター (2ヶ月間)	夏／冬セッション期間 (3～4週間程度)	8月～3月(2017年度実績)	夏セッション～秋セメスター 第1クォーター(約3ヶ月)
なし	4月	6月～7月	—
11月～12月	10月	—	11月～12月
アメリカ(テキサス州)	タイ、ベトナム等	インドネシア、タイ	アメリカ(テキサス州)
・特殊講義(E)(共通教養科目) 8単位 ・ボランティア研究(E)(共通教養科目) 2単位※ 計10単位	インターンシップ(J)(共通教養科目) 4単位※	・特殊講義(言語教育科目) 16単位 ※休学状態で参加可能なプログラムもあります	・特殊講義(言語教育科目) 4単位 ・インターンシップ(E)(共通教養科目) 4単位※
通常評価(A+、A、B、C、/F)	通常評価(A+、A、B、C、/F)	P(合格)/F(不合格)	・特殊講義 T(認定) ・インターンシップ(E)P(合格)/F(不合格)
実習セメスター	実習セメスターの次セメスター	実習セメスター	実習終了時セメスター
55万円～60万円	10万円～15万円	自己負担なし(国際交流基金からの補助あり)	95万円程度(渡航費は別途)
含む	含まない	含む	含まない
不可	不可	不可	不可

※「プロジェクト研究」「ボランティア研究」は各8単位まで、「インターンシップ」「ビジネスインターンシップ」は合計14単位までは、卒業要件の「124単位」に含むことができますが、それぞれ上限を超えて修得した場合には、超過分は要卒業集計外の単位としてみなされます。

テーマ別・専門を学ぶ				
プログラムの目的、特徴	フィールド・スタディ		プロジェクト研究	インターンシップ
	セメスター実施型	セッション実施型		
プログラムの目的、特徴	・専門知識の実践 ・現地調査・研究活動		・専門知識の実践 ・調査・分析 ・ゼミ連携型実践学習	・就業体験 ・キャリア形成
受講対象	3～8セメスター生	3～7セメスター生	5～7セメスター生	派遣時に2～7セメスター生
申請条件	・英語開講の場合、「英語中級A・B」を修得していること（日本語基準学生のみ） ・プログラムごとに申請要件あり		・プログラム担当教員のゼミ生であり、次セメスターも同演習を継続する意思のある学生 ・申請セメスターに「卒業研究Ⅱ・卒業論文」を履修していないこと	APUと覚書を交わし、協定を結んだ企業・団体にて行う協定型インターンシップに申請をしていること
実習時期	春セメスター／秋セメスター（プログラムによって異なる）		夏／冬セッション期間（数日～4週間）	夏／冬セッション期間（数日～8週間程度）
募集期間	春	12月ごろ	4月	6月
	秋	6月～7月ごろ	10月	11月～12月
実習地（国・地域） （過去例を含む）	日本	タイ、フィリピン、イタリア、インド、日本等	日本、中国、韓国等	日本、タイ等
科目名（集計分野） 単位数	・2011年度カリキュラム生 フィールド・スタディ 2または4単位 （自学部開講：専門教育科目、他学部開講：自由選択） ・2017年度カリキュラム生 APSフィールド・スタディ 2または4単位 環境・開発 フィールド・スタディ 2または4単位 観光学 フィールド・スタディ 2または4単位 国際関係 フィールド・スタディ 2または4単位 文化・社会・メディア フィールド・スタディ 2または4単位 APMフィールド・スタディ 2または4単位 （自学部開講：専門教育科目、他学部開講：他学部科目）		・2011年度カリキュラム生 プロジェクト研究 2または4単位 （自学部開講：専門教育科目、他学部開講：自由選択） ・2017年度カリキュラム生 プロジェクト研究 2または4単位 （自学部開講：専門教育科目、他学部開講：他学部科目）	インターンシップ （共通教養科目） 2または4単位
成績評価	通常評価（A ⁺ 、A、B、C、/F）			P（合格）/F（不合格）
単位授与とセメスター	実習セメスター			実習セメスターの次セメスター
費用目安	1万円～40万円程度		3万円～10万円	インターンシップ先によって異なる
登録上限単位数に含む/含まない	含む	含まない	含まない	含まない
再履修の可否	異なるプログラムであれば可	異なるプログラムであれば可	異なるプログラムであれば可	異なるプログラムであれば可

※「プロジェクト研究」「ボランティア研究」は各8単位まで、「インターンシップ」「ビジネスインターンシップ」は合計14単位までは、卒業要件の「124単位」に含むことができますが、それぞれ上限を超えて修得した場合には、超過分は要卒業計外の単位としてみなされます。

6.2 長期留学

APUでの長期留学には、交換留学（海外・国内）、共同学位プログラム、個別合意に基づく留学等があります。各制度の詳細を読み、ガイダンスに参加してください。

6.2.1 交換留学（海外）

交換留学とは、APUと学生交換協定を締結している大学へ留学する制度です。交換留学の目的は単に言語運用能力を伸ばすことではありません。今まで取り組んできた学習・研究をより発展させるため、他大学で専門科目等を受講し、その分野についての知識をより広く身につけていくところに真の目的があります。

ここでは、大まかな海外交換留学の仕組みと流れを説明しています。詳しくは、アカデミック・オフィスウェブサイトの留学のリンクより海外交換留学のページを確認してください。

URL : <http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0105.html>

<留学する場合の学籍状態・学費・単位認定の有無>

	交換留学 ダブルディグリープログラム	個別合意に基づく留学	休学による海外渡航
学籍状態	「留学」	「留学」	「休学」
学費など	APU授業料Aおよび授業料B	APU授業料Aおよび授業料B + 留学先学費	審査・事務手数料15,000円 APU在籍料5,000円／ 1セメスター+渡航先学費
単位認定	する	する	しない

こうかんりゅうがく じょうけん し か く など
 <交換留学の条件・資格等>

プログラムの目的、特徴	海外協定校で専門知識を深める。
受講対象	4 ～ 7 セメスター生
留学期間	1 セメスターもしくは 1 年間（回生をまたいても可。例：4 ～ 5 セメスター）
出願資格	セメスター 2 セメスター ～ 5 セメスター生
	当該 GPA2.00 以上 ※ 通算 GPA 基準は留学先大学により異なる。
	留学先の国や大学によって異なる。 A) 留学先大学で、主に英語開講科目を履修する場合、通常 TOEFL ITP® Test スコア 500-600 点が求められる。 B) 留学先大学で、主に AP 言語で履修する場合、留学先大学の英語の言語要件及び正規科目を受講できる AP 言語の語学力が求められる。 ※ 学内選考の際に、TOEFL ITP® Test、TOEFL iBT® Test、IELTS™ などの言語運用能力を証明する書類の提出が必要。AP 言語で履修する場合でも、各言語の言語運用能力を証明する書類の提出が必要。
募集期間	原則として年 2 回、派遣の 1 年前に募集。（それぞれ募集ガイダンス実施予定） 春派遣：5 月中旬～ 6 月中旬 秋派遣：10 月中旬～ 11 月中旬
留学先	APU が学生交換協定を締結している海外協定大学
留学時期	留学先の学年暦によって異なる。
履修内容	留学先の大学で正課科目として開講される学部科目
履修科目登録	学生が留学先にて科目登録する。
成績評価	T（認定）
単位認定時期	単位認定願・留学先大学の成績証明書・その他必要書類の提出後、教育学部に審査のうえ、留学終了後に認定する。
滞在先	留学先大学寮もしくはアパート等
主な費用	APU 授業料 A および授業料 B・寮費・食費・生活費・テキスト代・ビザ取得費・往復渡航費用・海外旅行保険費用・危機管理システム(J-TAS)費用・その他雑費

※ 留学時期、留学期間、派遣学生数は、協定大学との派遣・受入人数のバランスや、その大学の学年暦によって決まります。

選考方法

出願書類、学業成績、英語能力試験（TOEFL®/IELTS™）のスコア、面接を中心に総合的に判断します。

面接は書類選考後必要と判断された場合のみ実施します。

＜派遣までの流れ＞

時期	内容
派遣内定後	APUより派遣先大学へ推薦
派遣の約4ヶ月前	派遣先大学へ申請書提出
派遣の約3ヶ月前	派遣先大学より受入れ許可書受領 その他、入寮申請・健康保険加入等
派遣の約2ヶ月前	ビザ申請・渡航手続開始

留学終了後の単位認定

全カリキュラム共通

- 留学先での単位は、在学中のすべての単位認定を含め60単位を上限として認定を行います。
- APUの開講科目と全く関連性の無いもの（体育・芸術など）の単位認定は原則として行いません。
- 現地での履修計画については、事前にアカデミック・オフィスへ報告してください。
- 留学先の正規課程において修得した科目は、本人からの申請に基づき、審査・認定を行います。
- 単位認定の結果、APU設置科目に認定された場合、その科目は以後の履修対象とはなりません。
- 交換留学先で修得した成績評価は、「T（認定）」とします。
- 原則として、留学先の成績証明書到着後1ヶ月以内に単位認定申請を行うことが必要です。

2017年度カリキュラム

- 2017年度カリキュラム学生の、自学部専門教育科目への単位認定は、20単位が上限です。
- APMの学生はAACSB、EQUIS、EPAS等の認証を受けている大学に留学することを強く推奨します。上記の認証を受けている大学に留学した場合、APM専門教育科目として20単位以上の単位認定が可能な場合があります。それ以外の大学に留学した場合、APM専門教育科目として認定されずとは限りません。
- 2017年度カリキュラム生の単位認定全般にかかわるルールについては、79ページを確認してください。

個別合意に基づく留学

個別合意に基づく留学とは、APUが協定等に基づき提供する留学プログラムではなく、学生自身が留学を希望する大学から直接受け入れ許可を得て、それを審査のうえ、「留学」と認める制度です。留学と認められるためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- 正規課程への入学であること（期間は6ヶ月以上）。
- 留学先での学修が、学生の教育上、有益と認められること。
- 本学と留学先大学が学生の留学に関して合意ができること。

※ その他詳細はアカデミック・オフィスに確認してください。

6.2.2 交換留学(国内)

立命館大学・国際教養大学交換留学プログラム(半年または1年)

国内留学プログラムでは、立命館大学(RU)、国際教養大学(AIU)の2大学で学ぶことができます。APUと比較して、立命館大学(RU)は9つの学部があり、APUにはない専門知識を深めることができます(実際には15学部ありますが、募集しているのは9つの学部です)。また、日本人学生の割合が高いという特徴もあります。

一方、国際教養大学(AIU)は少人数授業を多く開講し、授業は全て英語で行われます。特定の専門分野の深い知識を身に付ける専門教育とは異なり、状況に応じて適切な判断が下せる多角的な視点を身に付けることを目的とした教養教育が展開されています。

自分の興味関心に合わせ、より自身の体験や学びを深めることができるプログラムを選択し、参加してください。

留学先大学・学部

留学先大学	学部	キャンパス	派遣人数	派遣期間
立命館大学 (RU)	法学部 産業社会学部 国際関係学部 文学部	衣笠キャンパス (KIC:京都府京都市)	年間 30名 程度	春派遣: 1 セメスターまたは 1 年間 秋派遣: 1 セメスター
	経済学部 理工学部 スポーツ健康科学部	びわこ・さつキャンパス (BKC:滋賀県草津市)		
	政策科学部 経営学部	大阪いばらきキャンパス (OIC:大阪府茨木市)		
国際教養大学 (AIU)	国際教養学部	国際教養大学 (AIU:秋田県秋田市)	年間 10名 程度	春派遣: 1 セメスターまたは 1 年間 秋派遣: 1 セメスターまたは 1 年間

出願資格

- 3～6 セメスター生(留学時 4～7 セメスター)
- 修得単位数: セメスター×14単位以上
- 成績: 通算 GPA が 2.50 以上
- 言語運用能力: RU=十分な日本語能力が必要(「日本語上級」終了程度)

AIU=TOEFL® Test 500点以上 (TOEFL ITP® Test可)

※ 早期卒業プログラムに登録している学生を含め、最終セメスターに留学することはできません。

※ 3 回生編入生は出願できません。2 回生編入生は第 4 セメスターから出願できます。

※ 理工学部については専門学修に必要な学力を有する者とし、別途選考を行います。

奨学金の取り扱い（国際学生対象）

APUで学費減免の適用を受けている者は、原則として留学中においても学費減免の適用を受けることができます（留学中の学籍状態は「留学」となります）。

奨学金に関する詳細は、各自でスチューデント・オフィスに問い合わせてください。

ガイダンス

秋派遣ガイダンスを4月、春派遣ガイダンスを10月に行います（日程詳細は8～11ページの「学年暦・スケジュール」を確認すること）。上記プログラムに関心がある学生は、出席してください。

国際教養大学 冬期留学プログラム

1月～3月までの3ヶ月間国際教養大学の「冬期プログラム科目」を履修し、単位を修得することができるプログラムです。出願資格は、国際教養大学交換留学プログラムと同様です。詳細は、上記4月のガイダンスの際にお知らせします。

立命館大学 夏セッション留学プログラム

9月上旬ごろに1週間単位で開講される立命館大学の「夏期集中講義」を履修し、単位を修得することができるプログラムです。詳細は、5月中旬にアカデミック・オフィスウェブサイトで発表します。申請を行う場合は、193～195ページ「国内他大学での修得単位認定プログラム」を確認してください。

【注意】

2017年度カリキュラム学生の「専門教育科目」への単位認定は20単位が上限です。79ページ「2.2.12 2017年度カリキュラム適用 単位認定制度について」も併せて確認してください。

6.2.3 ダブルディグリープログラム

ダブルディグリープログラムは、APUの学生が、APUの2年間と留学先大学での2年間、合計4年間の学修を行い、両大学の学位取得が可能となるプログラムです。

以下は、本学が実施するダブルディグリープログラムの概要です。ただし、内容は個々の留学先で異なりますので、詳しくはアカデミック・オフィスウェブサイトのダブルディグリープログラムのページや各プログラムのガイダンス資料等をご覧ください。

セント・エドワーズ大学（アメリカ）とのダブルディグリープログラム

留学期間	2年間 【春入学者】2～5セメスター（第1クォーターまで） 【秋入学者】3～6セメスター（第1クォーターまで）
受入学部	School of Behavioral and Social Science (Global Studies)
募集期間	【春入学者】入学前に締め切り（3月） 【秋入学者】秋セメスター中に募集ガイダンスを実施し、2月～3月に募集。
出願資格	2018年夏派遣の場合 ・アジア太平洋学部（Shoyok）に所属する2017年度秋入学および2018年度春入学の1回生 ・言語基準や国内学生、国際学生は問わない ・派遣前の通算GPAが3.00以上 ・言語基準を満たす者 （申請時にTOEFL iBT [®] Test: 71、TOEFL [®] PBT TestまたはTOEFL ITP [®] Test 525点以上、IELTS [™] 5.5、TOEIC [®] L & R TEST (IP) 700、英検準1級） （派遣前までにTOEFL iBT [®] Test: 79、TOEFL [®] PBT TestまたはTOEFL ITP [®] Test 550点以上、IELTS [™] 6.0）など
選考方法	書類選考および面接
募集人数	年間最大5名まで

ガルツブルク応用科学大学（オーストリア）とのダブルディグリープログラム

留学期間	2年間 2018年度春入学の場合（3～6セメスター）
受入学部	Department of Innovation and Management in Tourism
募集期間	春セメスター中に募集ガイダンスを実施し、5～6月頃に募集予定
出願資格	- アジア太平洋学部（学部）に所属する2018年度春入学の1セメスター回生 - 入学言語や国内学生・国際学生は問わない - 派遣前の通算 GPA が 2.80 以上 - 言語基準を満たす者（留学前までに TOEFL® PBT Test または TOEFL ITP® Test : 537点以上、TOEFL iBT® Test : 75点以上、IELTS™ : 6.0 以上）など
選考方法	書類選考および面接
募集人数	年間最大 3 名まで

キョンヒ大学（韓国）とのダブルディグリープログラム

留学期間	2年間 2018年度春入学の場合（3～6セメスター）
受入学部	国際学部
募集期間	春セメスター中に募集ガイダンスを実施し、5～6月頃に募集予定
出願資格	- アジア太平洋学部（学部）に所属する2018年度春入学の1セメスター回生 - 入学言語や国内学生・国際学生は問わない - 派遣前の通算 GPA が 2.80 以上 - 言語基準を満たす者（留学前までに TOEFL® PBT (もしくは ITP®) : 530点以上、TOEFL iBT® : 71点以上、IELTS™ : 5.5 以上）
選考方法	書類選考および面接
募集人数	年間最大 2 名まで

共通事項

- 留学までの流れは、交換留学（海外）とほぼ同様となります。
- 留学期間中の学生の学籍は「留学」となり、留学期間は在学期間に参入されます（最短 4 年間での卒業が可能）。
- 派遣学生数や留学の有無は、留学先大学の派遣・受入人数のバランス等により、変更となる場合があります。
- 学費は APU の授業料 A および授業料 B の納入が必要ですが、留学先大学との協定により、留学先大学の学費は免除されます。
- その他の主な費用は以下の通りです。
寮費（または住居費）、食費やその他生活費、テキスト費、パスポート・ビザ取得費、渡航旅費、保険料、危機管理システム（J-TAS）費用、その他雑費
- ダブルディグリーに関する情報は、アカデミック・オフィスウェブサイトに掲載します。

